

茨城県防犯設備協会

本年度、当協会は「安全・安心な地域社会の実現」を目標に、県内自治体・警察・事業者との連携を強化し、防犯設備の普及と技術向上に取り組んだ。まず、防犯設備士および会員を対象とした研修会を定時総会と同日で開催し、本年はNPO法人大阪府防犯設備協会の平野理事長にお越しいただき、これまでの実績と活動実績を講話いただいた。また、総会、講演会の後は懇親会も開催し、より身近に他の防犯設備協会の話をきかせていただき、参加者からは、実務に直結する内容であるとして高い評価を得た。

地域支援の面では、自治体から防犯設備補助金等の申請支援事業や防犯相談会を開催していきたいと考えているところである。地域支援活動や各種活動時に会員が着用できるビブスを本年は作成した。各活動時にそのビブスを着用しながら行うことで、設立3年目でまだまだ認知度の高くない当協会のPRにもつなげていきたいと思う。

11月に開催予定であった講演会で、茨城県内に在住の防犯設備士の資格を保有してる方々に講演会のチラシを郵送して参加を促した。講演会は順延になってしまったが、そのチラシを見て入会に至った会員が数社あった。これからも、会員に有益な情報を適宜届けることで、会員の増加も図っていききたいと思う。今年度もまだ半年であるけれども、講演会や会員の交流を行えるように努めたい。



一般社団法人京都府防犯設備協会

技術研修会「サイバー対策セミナー」開催報告

当協会では、防犯技術研修会の一環として、11月25日に「サイバー対策セミナー」を開催し、約30名の皆さまにご参加いただきました。巧妙化するサイバー犯罪に対応するため、物理防犯とサイバー対策の両面を統合し、会員の皆さまが“全体最適の防犯コンサルタント”として活躍していただくことを目的に実施したものです。

研修会では、各分野の専門家の方々から多彩な講演をいただきました。

講演1では京都府警察サイバー対策本部様より、相談件数が過去最高となる現状を踏まえ、VPN機器の脆弱性やフィッシング詐欺の脅威について、実演を交えてわかりやすくご紹介いただきました。

講演2ではNTT西日本京都支店様が、病院等での被害事例やセキュリティ対策制度の概要、さらに実用的なサービスを紹介されました。

講演3ではパナソニック(株)エレクトリックワークス社様より、物理防犯の重要な要素となる入退室管理システムについてお話いただきました。

最後の講演では当協会サイバー対策委員長より、物理防犯に偏りがちな現状を見直し、サイバーと物理をあわせて捉える“隙のない全体最適の防犯診断”の大切さをお伝えしました。

今回のセミナーは、会員の皆さまが今後、物理・サイバーの両面からお客様の安心を支える専門家として活動していくための大きな学びとなりました。当協会は、こうした取り組みを通じて、これからも地域の防犯力向上に努めてまいります。



NPO法人大阪府防犯設備協会

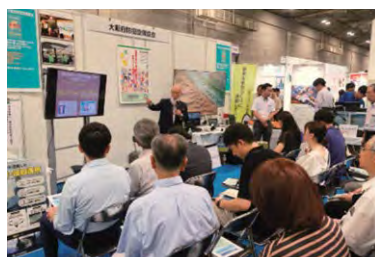
「SECURITY SHOW大阪2025」への出展

令和7年7月10日、11日に大阪市住之江区のインテックス大阪で開催された日本経済新聞社主催の「SECURITY SHOW大阪2025」に昨年に引き続き会員企業等5社のご協力を得て出展するとともに、ミニセミナーを開催しました。このセミナーは、昨年、当協会のアイデアで展示会場の一部に席を設けて実施したのが好評であったことから席数も約2倍の25席に拡大、大阪大学名誉教授の土岐 博先生や大阪府警察本部府民安全対策課の課長補佐など多彩な講師を招いて2日間で13のテーマで開催し、時には立ち見も出るほどの盛況でした。

「SECURITY SHOW大阪2025」には同時開催の展示会も含めて2日間で17,834人の来場者がありました。



防犯セミナーのスケジュールと
開催状況



防犯セミナーの開催状況



防犯機器の展示状況
(中央奥は防犯セミナー開催中)

防犯研修会の開催について

第20回都道府県防犯設備士(業)協会全国大会が11月7日、大阪において開催されたことから、(一社)総合防犯士会と共催による防犯研修会を開催しました。研修会は、株式会社ウエスト様のご協力をいただき、11月6日、中型バスを貸し切り、兵庫県多可郡多可町所在の「株式会社ウエスト生産工場」におきまして、通常中々見ることができないディンプルキーのシリンダー組立・調整、電子錠の組み立て、調整等生産工程を見学させていただきました。特にディンプルシリンダーの組立てにおきましては、勤続30年を超えるベテラン女子社員の高い技術力と正確性について素晴らしく、長い経験と日々の努力の賜物と感銘を受けました。ウエストの関係者の皆さま、大変ありがとうございました。



オリエンテーションの状況



参加者集合写真

大阪狭山市の令和7年度安全安心スクール開校に伴う大防設の支援について

●概要

大阪狭山市では、いざという時のための知識や技術を習得して、地域の防災防犯力を高めることを目的として、毎年、救命・防災・防犯を統合した「安全安心スクール」を開校しています。

令和7年度安全安心スクールでは【基礎入門編】から【特別編】まで全5回開催し、すべてのカリキュラムを終了した人には【安全安心推進リーダー】として【安全安心推進リーダー認定証】が交付されます。



●内容

第1回目【基礎入門編・基礎講習会】では、防災部門「家庭で取り組む地震対策」として防災クリエイティブマネジメント 岡本 裕紀子氏が講師を務め、防犯部門では「わたしはダメされない!その思い込みが落とし穴」特殊詐欺被害防止DVDが上映されました。

第2回は【応用編・普通救命講習会】、第3回は【上級編・上級救命講習会】が開催され、第4回目【特別編・防犯講演会】では、大阪府防犯設備協会から会員の近藤 雅洋氏（総合防犯設備士）が講師を務めました。

今回は「あなたと住まいを守る防犯セミナー」と題して、約40名の方々へきめ細かな内容で説明を行い、非常に好評を得ました。



セミナー風景



講師:近藤 雅洋氏
(大防設会員・総合防犯設備士)

一般社団法人山口県防犯設備士協会

以前よりご紹介させて頂いた、「防犯優良建物認定制度BEST」へ後援を頂いている（公社）山口県防犯連合会、山口県警察とさらに緊密に連携を取りながら進めております。

数年前から、防犯設備の広報を建築関係へも拡大し県内のイベントへの参加、社会情勢や設備機器の案内に努めてまいりました。

県内の中高生を対象にした「やまぐち建設産業魅力発見フェア」等へ参加し防犯設備士の活動について、防犯優良建物認定制度「BEST認定」、建設現場の防犯について、防犯設備の構成と施工実習などを行い将来への安全安心なまちづくりへも注力してきたことも成果の表れと思います。

また、本年は山口県警察の街頭防犯カメラ設置補助金制度の実施に伴い、当協会に機器選定、設置基準等の協力要請があり実施に向け現場同行、アドバイス、設置希望者への対応協力を行いました。さらに当協会会員へ設置及びメンテナンスを含めた参加により成果を上げる事が出来ました。

日本を取り巻く世界情勢は日々変わり、毎日のニュースを見ると、安全安心は自分自身で守り積み上げていくものだと感じさせられます。この時代にマッチした当協会も時代遅れにならないよう、日々刷新される知識と技術を研鑽し山口県防犯設備士協会会員の皆さんとで社会貢献に寄与していきたいと活動を進めてまいります。

防犯 で 守る
安全で安心な住まいづくりのために
防犯性能の高い建物を認定します

**防犯優良建物認定制度
「BEST認定」**

認定：一般社団法人 山口県防犯設備士協会
後援：公益社団法人 山口県防犯連合会
山口県警察

<https://yama-bousetsu.jimdofree.com>